

平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システム ディ
 コード番号 3804 URL <http://www.systemd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 堂山 道生
 (氏名) 藤田 雅己

TEL 075-256-7777

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第2四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	1,450	12.0	210	△10.6	206	△10.3	130	△18.8
26年10月期第2四半期	1,294	13.5	235	65.2	229	67.1	160	69.8

(注) 包括利益 27年10月期第2四半期 129百万円 (△18.6%) 26年10月期第2四半期 158百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第2四半期	40.20	—
26年10月期第2四半期	49.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年10月期第2四半期	3,351	1,616	48.2	497.90
26年10月期	3,151	1,496	47.5	461.06

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 1,616百万円 26年10月期 1,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年10月期	—	0.00	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,841	17.3	252	34.0	243	36.0	196	5.9	60.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年10月期2Q	3,249,000 株	26年10月期	3,249,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年10月期2Q	2,559 株	26年10月期	2,559 株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年10月期2Q	3,246,441 株	26年10月期2Q	3,246,441 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、高品質な自社開発パッケージソフトを核とした利益率の高いソリューションビジネスと、顧客増加に伴うサポート及びクラウドサービス提供による持続発展的なストックビジネスの両輪で事業に取り組んでおり、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上、営業利益とも計画を上回る結果となり、特に営業利益では計画比177%となりました。

学園ソリューション事業におきましては、主力製品である『キャンパスプラン.NET Framework』が引き続きユーザから高い支持を得ており、学校法人新会計基準への制度変更に伴う受注、売上が伸び、営業利益面でも計画値を大きく上回りました。また、クラウド製品も順調に伸び、クラウド関連売上で前年比238%となりました。

ウェルネスソリューション事業におきましては、民間のフィットネスクラブ・公共の体育施設に会員管理システム『Hello』を販売しておりますが、計上を予定しておりました大型案件の検収のずれにより営業利益では計画を達成する事ができませんでした。アンチエイジングサービス『Weldy Cloud』は4月よりメディカル系フィットネスクラブ、体育館、介護予防施設へ提供を開始しております。

公立小中高校向け校務支援サービス『School Engine』の提供を行っている公教育ソリューション事業におきましては、売上、利益とも計画値を上回りました。自治体における予算措置件数が確実に増加しており、中小規模自治体のクラウド化への流れとも相まって販売環境は好転しており、下期以降の計画値達成の為に強力な拡販活動を継続していきます。

公会計ソリューション事業におきましては、昨年リリースしました、総務省の新統一基準に対応した地方公会計パッケージソフト『PPP(トリプル・ピー) Ver.4 新統一基準対応版』の営業展開を行っており、自治体の新年度での受注獲得を進めております。また、総務省の新統一基準に沿ってさらなる機能アップに努めておりますが、新規事業の公共向けビジネス(公教育・公会計ソリューション事業)では、売上計上が年度末になることもあります。

ソフトエンジニアリング事業におきましては、『規程管理システム』及び『契約書作成・管理システム』の販売を行っておりますが、今期より金融業界向けに販売を強化し、下期には金融機関向け展示会等にも積極的に出展し拡販活動を強化していく計画を立てております。

保険薬局向け事業を営んでいる株式会社シンクにおきましては、引き続き保守サポート収入を安定的に確保いたしました。

株式会社新公会計研究所におきましては、公会計制度変更に伴う移行処理のコンサル業務を自治体向けに行っておりますが、引き合いが大きく伸びる中、売上、利益とも計画を上回る結果となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,450,691千円(前年同期比12.0%増)となりましたが、減価償却負荷により営業利益210,754千円(前年同期比10.6%減)、経常利益206,262千円(前年同期比10.3%減)、四半期純利益130,506千円(前年同期比18.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて200,200千円増加して3,351,970千円となりました。流動資産の残高は1,531,239千円であり、主な内訳は、現金及び預金419,367千円、受取手形及び売掛金876,438千円であります。固定資産の残高は1,820,730千円であり、主な内訳は、土地420,300千円、ソフトウエア641,023千円、ソフトウエア仮勘定166,702千円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて80,602千円増加して1,735,582千円となりました。流動負債の残高は1,084,163千円であり、主な内訳は、支払手形及び買掛金198,929千円、短期借入金500,000千円であります。固定負債の残高は651,419千円であり、主な内訳は長期借入金368,488千円であります。

純資産は、前連結会計年度末の残高より119,597千円増加して1,616,388千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の業績予想につきましては、平成26年12月15日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	320,119	419,367
受取手形及び売掛金	795,685	876,438
たな卸資産	45,259	204,908
繰延税金資産	72,078	11,120
その他	15,428	23,225
貸倒引当金	△3,448	△3,821
流動資産合計	1,245,123	1,531,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	168,957	162,497
土地	420,300	420,300
その他(純額)	5,298	5,848
有形固定資産合計	594,557	588,645
無形固定資産		
のれん	120,781	112,452
ソフトウェア	455,460	641,023
ソフトウェア仮勘定	402,916	166,702
その他	2,080	2,080
無形固定資産合計	981,239	922,259
投資その他の資産		
投資有価証券	38,691	17,739
繰延税金資産	39,096	38,705
その他	253,062	253,380
投資その他の資産合計	330,850	309,825
固定資産合計	1,906,647	1,820,730
資産合計	3,151,770	3,351,970

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	211,208	198,929
短期借入金	300,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	117,176	115,976
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	13,055	22,343
賞与引当金	—	44,007
サポート費用引当金	154	233
その他	262,697	167,673
流動負債合計	939,291	1,084,163
固定負債		
社債	96,000	78,500
長期借入金	428,476	368,488
退職給付に係る負債	111,347	120,789
役員退職慰労引当金	73,033	76,980
その他	6,831	6,660
固定負債合計	715,688	651,419
負債合計	1,654,980	1,735,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,260	484,260
資本剰余金	619,313	619,313
利益剰余金	391,297	512,065
自己株式	△555	△555
株主資本合計	1,494,316	1,615,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,474	1,304
その他の包括利益累計額合計	2,474	1,304
純資産合計	1,496,790	1,616,388
負債純資産合計	3,151,770	3,351,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
売上高	1,294,969	1,450,691
売上原価	671,694	841,581
売上総利益	623,274	609,110
販売費及び一般管理費	387,412	398,356
営業利益	235,862	210,754
営業外収益		
受取配当金	349	380
未払配当金除斥益	160	150
受取手数料	190	180
償却債権取立益	317	124
その他	5	19
営業外収益合計	1,024	855
営業外費用		
支払利息	5,684	4,737
その他	1,272	610
営業外費用合計	6,957	5,347
経常利益	229,929	206,262
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,386
特別利益合計	—	3,386
特別損失		
固定資産除却損	2,252	—
役員退職功労加算金	5,000	—
特別損失合計	7,252	—
税金等調整前四半期純利益	222,676	209,649
法人税、住民税及び事業税	19,552	18,087
法人税等還付税額	—	△1,037
法人税等調整額	42,430	62,092
法人税等合計	61,982	79,142
少数株主損益調整前四半期純利益	160,693	130,506
四半期純利益	160,693	130,506

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,693	130,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,755	△1,169
その他の包括利益合計	△1,755	△1,169
四半期包括利益	158,938	129,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,938	129,336
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222,676	209,649
減価償却費	7,664	8,312
ソフトウェア償却費	88,855	147,605
のれん償却額	8,329	8,329
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,104	372
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,191	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	9,442
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,091	3,947
受取利息及び受取配当金	△354	△384
支払利息	5,684	4,737
売上債権の増減額 (△は増加)	△96,552	△83,974
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,996	△159,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,071	△7,761
未払金の増減額 (△は減少)	3,146	1,876
その他	△23,667	△61,753
小計	231,054	80,748
利息及び配当金の受取額	354	384
利息の支払額	△5,711	△4,384
法人税等の支払額	△19,449	△9,131
法人税等の還付額	—	1,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,247	68,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,202	△2,104
ソフトウェアの取得による支出	△86,505	△100,887
投資有価証券の取得による支出	△601	△601
投資有価証券の売却による収入	—	23,297
その他	△1,854	△742
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,165	△81,038
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	200,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△41,834	△61,188
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
配当金の支払額	△9,744	△9,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,078	111,631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,004	99,247
現金及び現金同等物の期首残高	342,766	320,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	379,771	419,367

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,217,516	77,453	1,294,969	—	1,294,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,766	15,766	△15,766	—
計	1,217,516	93,219	1,310,736	△15,766	1,294,969
セグメント利益	319,906	33,453	353,360	△117,498	235,862

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作、テナント賃貸、コンサルティング等の業務を行っております。

2. セグメント利益の調整額△117,498千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,393,366	57,324	1,450,691	—	1,450,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,769	26,769	△26,769	—
計	1,393,366	84,094	1,477,461	△26,769	1,450,691
セグメント利益	312,757	23,286	336,044	△125,289	210,754

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作、テナント賃貸、コンサルティング等の業務を行っております。

2. セグメント利益の調整額△125,289千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。